

授業科目名	子ども家庭支援論		担当教員名	小島 知子
科目区分	教職・保育に関する科目		施行規則に定める科目区分 等	保育の本質・目的的理解に関する科目
必修・選択/単位数	必修 / 2単位 (30時間)		授業方法/担当形態	講義 / 単独
開講学年/学期	1年 後期 (3-4期) / 年間開講数 1講座		特記事項	※実務経験のある教員等による授業 乳児院、児童養護施設、児童家庭支援センターにて児童指導員、心理療法担当職員として、また幼稚園等でのカウンセラーとしての実務経験を生かして授業を行う。 ※オンデマンド授業
授業の概要及び全体目標	本科目では現代の子育て家庭を取り巻く社会的状況や家庭の変化について概説し、保育の専門性を生かした子ども家庭支援の意義と基本について理解することを目的とする。また、子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と子ども家庭支援の現状と課題について理解する。			
到達目標	1.子ども家庭支援の意義と役割について理解できる。 2.保育士による子ども家庭支援の意義と基本について理解できる。 3.子育て家庭に対する支援の体制について理解できる。 4.多様な支援の展開と関係機関の連携について理解できる。			
テキスト	子ども家庭支援論演習ブック 松本峰雄監修 (ミネルヴァ書房) 2500円+税			
参考書・参考資料等	「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(株式会社チャイルド本社)			
成績評価の方法	①平常点(受講態度) 25% ②課題(授業後のレポート・授業内での発表、グループワークへの取り組み) 25% ③理解度・到達度チェック(筆記形式) 50%			
授業外(事前・事後)学習の方法、オフィスアワー等	・事前学習については授業時に指示する。 ・事後学習については毎回、コメントシートを提出する。 ・オフィスアワーは授業前後の時間帯で受け付ける。			
授業計画	授業の内容			到達目標番号
第1回	子ども家庭支援とは(pp.1~13) ・授業の進め方(授業外学習を含む)および成績評価の方法について説明する。 ・子ども家庭支援論を学ぶ意義と目的について考える。			
第2回	1.子ども家庭支援の意義と役割について理解できる。 2.保育士による子ども家庭支援の意義と基本について理解できる。 3.子育て家庭に対する支援の体制について理解できる。 4.多様な支援の展開と関係機関の連携について理解できる。			
第3回	本科目では現代の子育て家庭を取り巻く社会的状況や家庭の変化について概説し、保育の専門性を生かした子ども家庭支援の意義と基本について理解することを目的とする。また、子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と子ども家庭支援の現状と課題について理解する。			
第4回	子ども家庭支援論演習ブック 松本峰雄監修(ミネルヴァ書房)2,500円+税			
第5回	「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(株式会社チャイルド本社)			
第6回	①課題 30% ③理解度・到達度チェック(筆記形式) 70%(中間1回30%、期末40%)			
第7回	・事前学習については授業時に指示する。 ・オフィスアワーは常時オンデマンド上のクラスルームで受け付ける。			
第8回	子ども家庭支援とは(pp.1~13) ・授業の進め方(授業外学習を含む)および成績評価の方法について説明する。 ・子ども家庭支援論を学ぶ意義と目的について考える。			①
第9回	子ども家庭支援の内容と対象(教科書 p14-23) こども家庭支援の内容、子育て支援の内容と対象について学ぶ			①
第10回	保育の専門性を生かした子ども家庭支援と意義について学ぶ(教科書 p26-35)			②
第11回	子どもの育て意の喜びの共有について学ぶ(教科書 p38-45)			①
第12回	保護者および地域が有する子育てをみずから実践する力の向上に資する支援について学ぶ(教科書 p48-57)			①
第13回	保育士に求められる基本的態度について学ぶ1(教科書p60-69) 受容的関わり、保護者との相互理解、信頼関係			①
第14回	保育士に求められる基本的態度について学ぶ2(教科書74-86) 関わり信頼関係、関わり方について学ぶ			①,③
第15回	家庭の状況に応じた支援について学ぶ(教科書88-99) 度チェックテスト(筆記形式)			①,③ 理解度・到達